

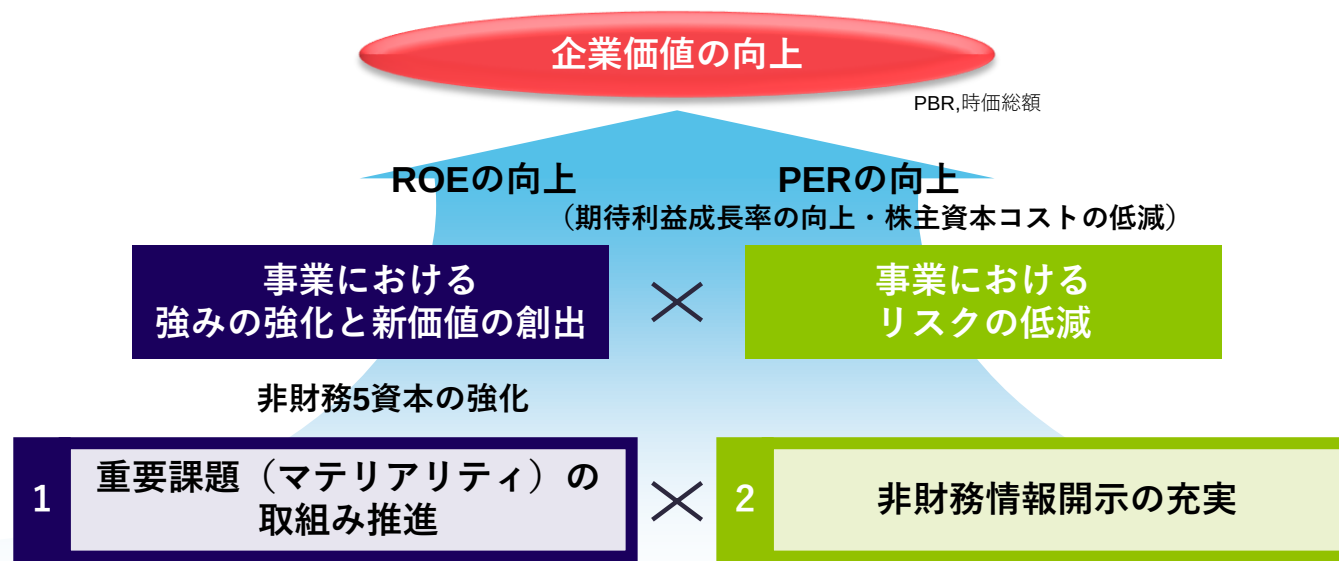


We Find the Way

IR Day2025 セッション3 「サステナビリティ経営戦略」

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社
2025年9月22日

サステナビリティ経営における企業価値向上の取組みアプローチ



企業価値向上に向けてはサステナビリティ経営を通じ、事業の持続的成長と外部評価の向上が必要
NXグループでは、重要課題（マテリアリティ）の取組み推進と、
ESG格付けなどの非財務情報開示の充実を図ることで、企業価値向上を目指している

2025年上期 重要課題（マテリアリティ）の推進状況 | サマリ

重要課題(マテリアリティ)の取り組み推進

 **サステナブル・ソリューションの開発・強化**

 **グローバル・サプライチェーンの強靱化**

 **気候変動への対応強化**

 **イノベーションを生む人財力の向上**

 **人権の尊重と責任ある企業活動の実現**

非財務資本の強化

収益化

顧客・社会の課題解決力

社会関係資本

自然資本

高い品質・生産性・安定性を生む強い現場力

顧客の持続的成長を支えるサプライチェーンパートナーとしての信頼

製造資本 知的資本 人的資本

社会関係資本 自然資本

価値創造の源泉となる人財・組織文化

従業員（将来含む）サプライヤー・社会からの信頼

人的資本

知的資本

社会関係資本

サステナビリティ経営の目指す姿

ROEの向上

PERの向上

(期待成長率の向上, 株主資本コストの低減)

企業価値の向上
(PBR向上)

社会的価値

安心・安定の提供
働く人の幸せ

環境的価値

地球環境の保全

経済的価値

NXの持続的成長

サステナビリティ
ビジョンの実現

サステナブル・ソリューションによるROE向上・売上収益拡大への貢献は課題

✓ サステナブル・ソリューションのKPI拡充については対応中

非財務資本の強化によるPER向上への取り組みは順調

- ✓ SBT短期目標の認定取得
- ✓ サプライヤー人権DD開始
- ✓ エンゲージメントスコア向上など

2025年上期の成果と今後の実施事項 | 気候変動への対応・人権の尊重

気候変動への対応

人権の尊重への取組み

2025年上期 の成果

✓ SBT短期目標の認定を取得

- 大手顧客の取引要件に適合

✓ 排出量実績把握・PDCAを早期化

- 25年上期Scope1,2実績 360,000t-CO2
対目標53%

✓ 社内の人権リスクに対する予防是正の 管理体制の整備完了 ※指標など

✓ サプライヤー人権デューデリジェンスを 開始

今後の 実施事項

✓ Scope1,2,3の削減・顧客要望への対応

- Scope1： 排出権取引制度対応を見据え、
26年からの削減施策の実行に向
けて日本通運での施策の具体化
→「燃費KPI」の設定
- Scope2： LEDなどの既存削減施策の継続
- Scope3： 削減施策の検討中

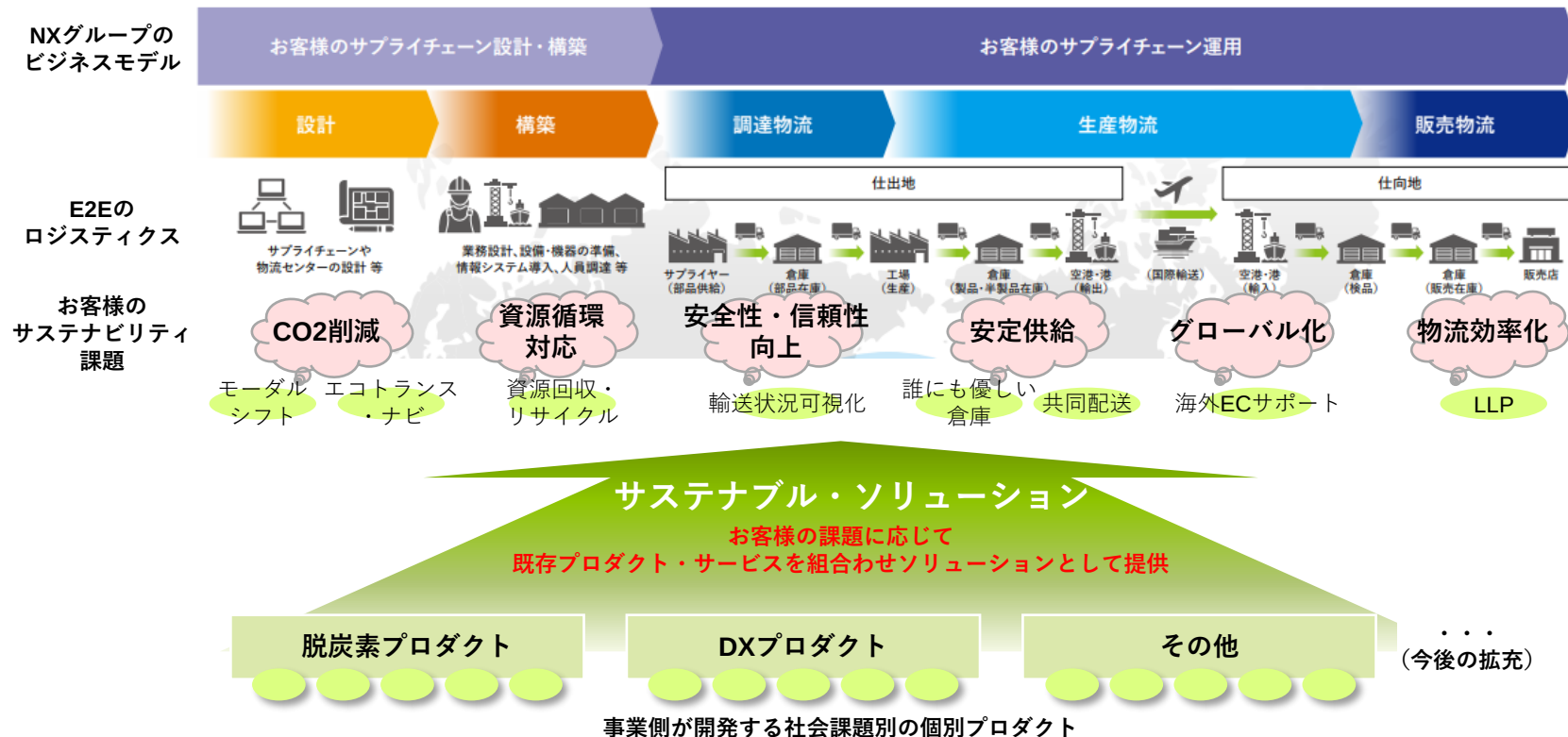
✓ サプライヤー向け苦情処理窓口の開設

- 2026年度中の運用開始予定

気候変動：SBT短期目標の認定を取得、Scope1,2,3の削減・顧客要望への対応を強化していく

人権尊重：サプライヤー人権デューデリジェンスを開始

サステナブル・ソリューションによるお客様の課題解決・E2Eの推進



お客様のE2Eロジスティクスにおける様々なサステナビリティ課題を解決するのがサステナブル・ソリューション

サステナブル・ソリューション事例 | 資源循環（建設業界静脈物流）



✓ 建設現場から排出される建材端材は、多種多様で混合廃棄物になりやすく、分別やリサイクルが困難であり、また、個々の現場から再資源化施設へ運搬
→ 運送コスト高
→ CO2排出量高

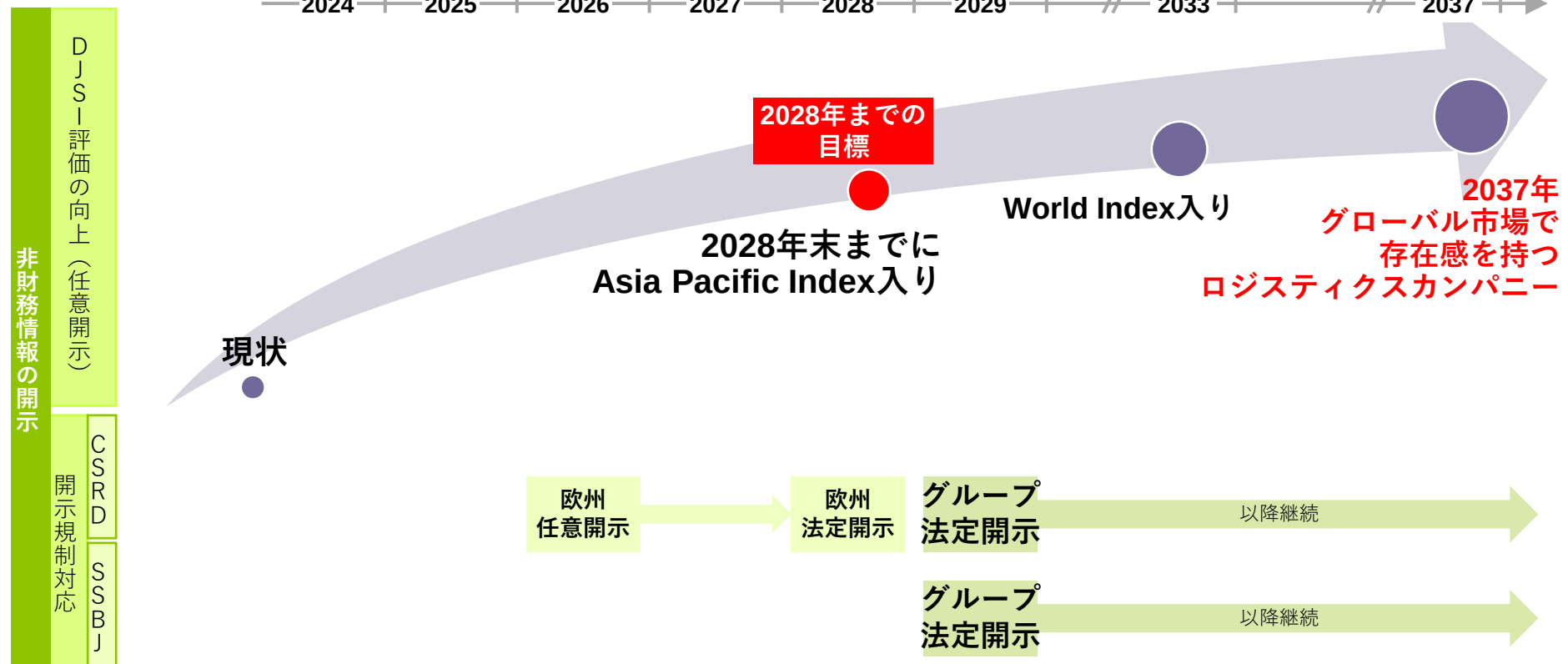
✓ NXグループ内のサービス・プロダクトを組合せ、巡回回収システムとしてソリューションを提供し、問題を解決

✓ 建設業全体に普及を促進

お客様・産業のサステナビリティ課題に対するソリューション提供をより推進することで差別化を図り、売上・収益性向上を図る

建設現場から排出される建材端材の運搬に係る運送コスト・CO2排出量の課題を、NRボックスなどの既存プロダクト・サービスを組合せたソリューションにて解決

DJSI評価向上の取組み目標



開示規制・ESG評価をモノサシとして、サステナビリティ経営の深度化を図り、2033年にWorld Index銘柄入り
2028年までの可能な限り早期の段階で、Asia Pacific Index入りを目指す

サステナビリティ経営推進の長期ロードマップ

— 2024 — | — 2025 — | — 2026 — | — 2027 — | — 2028 — | — 2029 — | — 2030 — | — // 2037 —▶

長期ビジョンの実現 ■
グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニー

重要課題（マテリアリティ）の推進

サステナブル・ソリューションの開発・強化

GAM/GTA、JAMを中心に推進
ソリューション・KPIの定義 ● ▲目標値の設定

事業における差別化・競争力強化

グローバル・サプライチェーンの強靱化

デジタルとデータを活用したサステナブルなロジスティクス

気候変動への対応強化

Scope2の削減

●SBT目標の認定

Scope1,2,3の削減

SBT短期目標の達成 ▲

イノベーションを生む人財力の向上

価値を創出する人財総合力の向上と経営と連動した人財戦略の推進
エンゲージメントスコア 76pt以上 ▲

人権の尊重と責任ある企業活動の実現

サプライチェーンの人権尊重による企業リスクの低減と事業機会の維持・創出
●社内外人権DD開始 ●社外人権DD拡大

非財務情報の開示強化

DJSI評価の向上

開示規制対応と併せて
取組み・開示を拡充

Asia Pacific Index入り ▲

企業価値向上に重点をおいた
取組み・開示を拡充

World Index入り ▲

開示規制
対応

CSRD

SSBJ

欧州任意開示

欧州法定開示

グループ法定開示

対応整備

運用実施

開示規制や気候・人権などのサステナビリティ課題に対応しつつ、人的資本の強化、事業のDXやお客様課題を解決するソリューションの提供を通じて、ROE・PERの向上を図っていく



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。
万一、この情報に基づいて、こうむったいかなる損害についても、
弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。